

平成25年度 阿賀野市音楽部 活動報告

部長 阿部 香

研究テーマ 楽しい音楽授業の実践を目指した指導の工夫

1 はじめに

楽しい音楽授業を実践するためには、楽器の充実や教材研究、教師の指導力向上が大切である。実際の授業に生かせる「楽器のメンテナンス」や、「合唱」の指導法を学ぶため、お二人の講師の方をお迎えし、研修を行った。

2 研究の概要

4月23日（火）組織の構成・役割分担，事業計画の作成

6月11日（水）「正しい楽器の調整やメンテナンス」

講師 音楽ライフ 天野 富勝先生 会場 京ヶ瀬小学校

11月26日（火）「合唱指導」

講師 阿賀野市ジュニア合唱団 野村 幸子先生 会場 水原小学校

3 研究の実際

(1) 「正しい楽器の調整やメンテナンス」の実技研修

楽器を前に、実技を通して楽器のチューニングやメンテナンスの方法を教えていただいた。

1. ティンパニのチューニング

2. 大太鼓の調整：ボルトの近くを叩きながら、締めていく。

3. 小太鼓の調整：スナッピーの状態をよく確認すること。

4. ボンゴの調整：ヘッドは本革製が多いので普段は緩めておく。

5. 木琴・鉄琴のメンテナンス：紐が緩んでいることが多いので紐の調整，交換を適宜行っていく。

6. その他（電子楽器・電子キーボード・アンプ付きスピーカーなど）：電子楽器はトラブルが多いので、できるだけオルガンを使用するようにする。

チューニングの仕方で音が全く違い、驚いた。普段の授業で使用している大太鼓や小太鼓などのメンテナンスや調整方法を学び、楽器を大切に使用していこうと感じた。楽器を正しく調整し、音に敏感になって、様々な楽器を子どもたちに楽しく経験させていきたい。



(2) 「合唱指導」の実技研修

教科書教材を元に、発声練習の方法や音域の広げ方などを教えていただいた。

2年生教材「はるがきた」4年生教材「レッツダンス」5年生教材「世界が一つになるまで」を実際に歌いながら研修を行った。

良い歌声を引き出すには体育の時間のような準備運動が必要なこと、自信がないと声が出せない事実、一曲を少しずつ形作っていく過程などを体験的に学ぶことができた。



4 おわりに

楽器の調整やメンテナンスの研修では、なかなか学ぶ機会のない楽器について、詳しく学び、自校の楽器を見直す良い機会となった。また、合唱指導では、実際に声を出し、子どもの立場にたって発声する方法を体験的に学ぶことができた。どちらも楽しい音楽授業を行う上で、即実践力となる研修を行うことができた。今後も、日々の授業に生かせる研修を行っていきたい。